

東京応化工業株式会社 決算補足説明資料

-2023年12月期 第1四半期決算-

2023年5月11日

東京応化工業株式会社

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

装置事業譲渡に伴うセグメント開示の変更について

01

22年度までのセグメント

23年度以降のセグメント

	22年度までのセグメント	23年度以降のセグメント
材料事業	エレクトロニクス機能材料 <ul style="list-style-type: none">● 半導体用フォトレジスト (g/i線・KrF・ArF)● 高密度実装材料 (パッケージ材料・MEMS材料)● LCD材料 (TFT材料・CF材料)● その他 (EUV・その他)	エレクトロニクス機能材料 <ul style="list-style-type: none">● 半導体前工程用フォトレジスト (レガシー材料・KrF・先端材料)● 半導体後工程関連材料 (パッケージ材料・MEMS材料・WHS*関連材料)● ディ스플레이材料・その他 (TFT材料・CF材料・その他)
	高純度化学薬品 <ul style="list-style-type: none">● シンナー・現像液・洗浄液	高純度化学薬品 <ul style="list-style-type: none">● シンナー・現像液・洗浄液
	その他	● その他装置 <ul style="list-style-type: none">● WHS*関連装置 (2023年2月28日まで)● プラズマアッシング装置 (2023年2月28日まで)
装置事業	<ul style="list-style-type: none">● WHS*関連装置● プラズマアッシング装置● その他装置● WHS*関連材料 <p>*WHS：ウエハハンドリングシステムの略</p>	<p>2023年3月1日より AIメカテック社へ事業譲渡</p> <p>(注1) レガシー材料：g、i線レジスト等 (注2) 先端材料：ArF・EUVレジスト等</p>

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

(百万円、%)

	2022/12 1Q	2023/12 1Q		
			増減	増減率
売上高	39,599	38,463	△1,136	△2.9%
営業利益	6,944	5,392	△1,552	△22.3%
経常利益	7,230	5,762	△1,468	△20.3%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	4,970	2,157	△2,813	△56.6%
EBITDA	8,488	7,286	△1,201	△14.2%

期中平均為替 (USドル) : 115.3円/ドル (2022/12 1Q) ⇒ 131.5円/ドル (2023/12 1Q)

- 売上高 : エレクトロニクス機能材料や高純度化学薬品の最先端プロセス向けや、新興市場等での売上増加が下支えしたものの、半導体需要減速の影響が上回り、前年比△2.9%減収。
- 営業利益・経常利益 : 為替による効果があったものの、売上減少や将来を見据えた投資を敢行したことによる人件費や減価償却費などの増加により減益。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 : 営業利益の減少や事業再編費用の計上により、前年比△56.6%減益。

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

(百万円、%)

	2022/12 1Q	2023/12 1Q			2023/12 計画値	上期計画 進捗率
			増減	増減率		
売上高	39,599	38,463	△1,136	△2.9%	89,000	43.2%
エレクトロニクス機能材料*	21,322	20,437	△884	△4.1%	47,500	43.0%
高純度化学薬品*	17,906	17,454	△451	△2.5%	40,500	43.1%
その他*	371	570	+199	+53.6%	1,000	57.0%
営業利益	6,944	5,392	△1,552	△22.3%	14,800	36.4%

期中平均為替 (USドル) : 115.3円/ドル (2022/12 1Q) ⇒ 131.5円/ドル (2023/12 1Q) *2022年12月期は、新セグメントに換算した数値。

- 売上高 : 半導体前工程用フォトレジストや新興市場向けの売上増進があったが、半導体需要の減速による影響を受け、上期計画進捗率43.2%。
- エレクトロニクス機能材料 (売上高) : 半導体前工程用フォトレジストの先端材料やKrFレジストの売上は、前年を上回る水準になるも半導体需要の減速による影響を受け、上期計画進捗率43.0%。
- 高純度化学薬品 (売上高) : 新興市場向けの売上は前年を上回る水準になるも半導体需要の減速による影響を受け、上期計画進捗率43.1%。
- 営業利益 : 為替による効果があったものの、売上減少や固定費の増加から、上期計画進捗率36.4%。

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

	2022/12 1Q	2023/12 1Q		2023/12 計画値	(百万円、%) 年間計画	
		増減	増減率		進捗率	
設備投資等	2,845	1,129	△1,715	△60.3%	18,600	6.1%
減価償却費	1,543	1,894	+351	+22.8%	7,300	25.9%
研究開発費	2,532	2,909	+377	+14.9%	12,850	22.6%

- 設備投資費： 若干の納期遅れがありつつも、おおむね計画通りに進捗。
- 減価償却費： 計画通りに進捗。
- 研究開発費： 計画通りに進捗。



© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

www.tok.co.jp

<ご注意>

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。



© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.